

経済の仕組み

貿易ゲームは、世の中の経済の仕組みを考えるゲームです。ハサミ・定規・直角三角形・半円・コンパス・鉛筆は技術に、紙は資源に相当します。技術によって資源を加工して製品にし、お金を得ます。足りないものは他国との貿易によって手に入れます。

1. 先進国と発展途上国

袋の中に入っていたものは次の通りです。

	F	E	D	C	B	A
ハサミ	2	2	0	0	0	0
定規	2	2	1	1	0	0
直角三角形	1	1	0	0	0	0
半円	1	1	1	1	0	0
コンパス	1	1	0	0	0	0
鉛筆	2	2	0	0	1	1
紙	1	1	5	5	8	8
紙幣	5	5	3	3	1	1
シール	0	0	5	0	5	0

E・Fは先進国で、技術は豊富ですが資源が不足しています。A・Bは発展途上国で、資源は豊富ですが技術がありません。C・Dは中進国で、技術も資源もある程度あります。

2. 経済の仕組み

途中、いくつかの指示を出しました。それは次のような意味がありました。

(a)紙の支給

新しい資源の発見、3倍の価値を付けた紙は稀少な資源の発見を表します。

(b)製品価格の引き下げ、買い取り中止

市場に製品が出回り過ぎ需要過剰になったため、インフレ状態になりました。

(c)シール

製品に付けることで価格が3倍になる付加価値。ブランドに当たります。製品だけでなく、情報も経済の大きな要素です。

また、こんな工夫をしたグループはないでしょうか。

(d)型の売買

例えば、コンパスはなくても、円の製品を買えば、それに合わせて製品が作れます。これは、ライセンスの売買に当たります。

(e)ハサミなどの技術を貸して製品を作らせ、完成品のいくらかを納めさせる

これは、ユニクロのように海外で製品を作らせる仕組みと同じです。

3. さまざまな仕事

作業の中では次のような仕事が発生します。どの仕事に多くのエネルギーを注いだか、どの仕事に興味を持ったか、どの仕事ならうまくやれるかを考えましょう。

- (1)製品のつくり方を工夫する ⇒研究・開発
- (2)交渉して道具や紙を調達する ⇒仕入・購買
- (3)実際に製品を作る ⇒生産・製造
- (4)世界銀行に製品を持って行く ⇒営業
- (5)何をどれだけ生産するか考える ⇒企画, 調査
- (6)快適に仕事できるように調整する⇒総務
- (7)会計を管理する ⇒経理・財務